

## My Systems

ユーザーマニュアル

# My Systems

## 目次

---

バージョン情報 .....	3
最新情報 .....	4
2024年10月 .....	4
開始する .....	5
My Axisアカウントを登録する .....	5
組織の作成 .....	5
ユーザーを管理する .....	6
ユーザーを組織に追加する .....	6
ユーザーロールについて .....	6
ユーザー権限の昇格 .....	6
ユーザーの削除 .....	7
アクセス管理 .....	8
アクセス権の付与 .....	8
装置の管理 .....	9
AXIS OSの管理 .....	9
ライセンスを管理 .....	10
License Managerについて .....	10
開始する .....	10
ライセンスの購入 .....	10
オフラインシステムをライセンスする .....	10
将来使用するためのライセンスの保存 .....	10
アクティビティの履歴を確認する .....	11
サブスクリプションの開始 .....	11
ハードウェアに紐付けされたライセンスを登録する .....	12
組織を管理する .....	14
組織について .....	14
組織名を変更する .....	14
所有者 .....	14
組織をアーカイブする .....	14

# My Systems

## バージョン情報

---

### バージョン情報

My Systemsは、Axis のクラウドサービスや拡張機能にアクセスできる場所です。ここで、装置とアプリケーションの監視、管理、メンテナンスを行います。サブスクリプションに応じて、小規模なビジネスから世界中の複数のサイトまで、あらゆるものを管理できます。これを効率的かつ安全に行うために、企業がセキュリティインフラストラクチャーの運用に必要なすべてのものを1か所に集める手段として、Axisでは組織を使用します。

My Systemsの構造では、複数の組織を管理することもできます。これにより、インテグレーターや大企業は、独立して事業を行うクライアントや子会社を分離しながらも、ライセンスされたソフトウェアソリューションや装置を維持することができます。

### 最新情報

*My Systems*の新機能で、最近追加されたすべての改善点と変更点、および以前の更新履歴をご覧ください。

### 2024年10月

2024年10月リリースのMy Systemsの新機能は以下の通りです。

#### ユーザー管理

- ・ 組織への招待状を送信する前に、ユーザーに役割を割り当て、詳細なアクセス権を与えることができるようになりました。詳細なアクセス権は、オペレーターと閲覧者に使用できます。

# My Systems

## 開始する

---


### 開始する

#### My Axisアカウントを登録する

[axis.com/my-axis/login](https://axis.com/my-axis/login)でMy Axisアカウントを登録します。

My Axisアカウントの安全性を高めるため、多要素認証 (MFA) を有効にしてください。MFAは、ユーザーの身元確認のために別の認証レイヤーを追加するセキュリティシステムです。

MFAを有効にするには:

1. [axis.com/my-axis/login](https://axis.com/my-axis/login)に移動します。
2. My Axisの認証情報を使用してログインします。
3.  に移動し、[Account settings (アカウント設定)] を選択します。
4. [Security settings (セキュリティ設定)] をクリックします。
5. [Handle your 2-factor authentication (2要素認証の処理)] をクリックします。
6. My Axisの認証情報を入力します。
7. 認証方法として [Authenticator App (TOTP) (認証アプリ(TOTP))] または [Email (電子メール)] のいずれかを選択し、画面の指示に従います。

#### 組織の作成

組織を作成するには:

1. My Axisアカウントを使用して、My Systemsにサインインします。
2. 設定アシスタントの手順に従います。

追加の組織を作成するには:

- 組織名のドロップダウンメニューに移動します。
- [+ Create new organization (+ 組織の新規作成)] を選択します。
- 設定アシスタントの手順に従います。

# My Systems

## ユーザーを管理する

---

### ユーザーを管理する

#### ユーザーを組織に追加する

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. My Systemsパネルに移動します。
3. [Organization > Users (組織 > ユーザー)] に移動します。
4. [Invite users (ユーザーの招待)] をクリックします。
5. 組織に招待するユーザーの電子メールアドレスを入力します。
6. ユーザーに割り当てる役割を選択します。ユーザーによって別の役割が必要な場合は、別の招待状で招待する必要があります。
7. [Operator (オペレーター)] または [Viewer (閲覧者)] を選択した場合は、ユーザーがアクセスできるフォルダーを選択します。[Admin (管理者)] の役割は、組織内のすべてのフォルダーにアクセスできます。
8. [Invite user (ユーザーの招待)] をクリックします。

#### 注

ユーザーは、My Systemsへのサインイン時に使用できる招待状電子メールを受け取ります。My Axisアカウントを持っていないユーザーは、その電子メールを使用して組織にアクセスする必要があります。招待は、承認が保留されている間でも取り消すことができます。

#### ユーザーロールについて

ユーザーロールは、ユーザーが組織内のシステムでアクセスできる範囲を定義します。使用できる機能は、ユーザーロールにより異なります。

##### 管理者

管理者はシステム全体にアクセスすることができます。制御権には、ユーザーや装置、ライセンス、ビデオ、その他のコンテンツの管理権限が含まれます。

また、AXIS Camera Station ProおよびAXIS Installerを使用して装置をオンボードすることもできます。管理者は、My Systems内でAXIS Camera Station Pro Server Monitoringを管理できます。

##### オペレーター

オペレーターは、ライブビデオフィードの監視と装置の制御を実行でき、再生のために録画にアクセスできます。組織のユーザーと各ロールの概要を閲覧できます。またオペレーターは、My Systems内でAXIS Camera Station Pro Server Monitoringを管理できます。

##### ビューワー

ビューアはライブビデオフィードを監視できますが、装置を制御する権限、および録画へアクセスする権限はありません。組織のユーザーと各ロールの概要を閲覧できます。

#### ユーザー権限の昇格

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. [Users (ユーザー)] に移動します。
3. 昇格させるユーザーの [Role (役割)] に移動します。
4. ドロップダウンメニューをクリックして新しい役割を選択します。

# My Systems

## ユーザーを管理する

---

### 注

選択すると、すぐに役割が変更されます。セキュリティ上の理由から、招待は閲覧者の役割に限定されます。

### ユーザーの削除

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. [Users (ユーザー)] に移動します。
3. 削除するユーザーの上にマウスポインターを置くと、新しいオプションメニュー ... が表示されます。
4. ...をクリックし、ドロップダウンメニューから [Remove user (ユーザーの削除)] を選択します。

# My Systems

## アクセス管理

---

### アクセス管理

#### アクセス権の付与

特定のフォルダへのアクセス権を付与するには：

- [My Systems] メニューで、[My Apps] > [Organization (組織)] > [Users (ユーザー)] の順に移動します。
- アクセス権を付与するユーザーを選択します。
- フォルダにアクセスする際のロールを選択します。ロールはフォルダの許可に影響します。詳細については、[を参照してください](#)。
- 組織のフォルダツリーで、アクセスを許可するフォルダを選択します。
- [保存] をクリックします。



### 装置の管理

#### AXIS OSの管理

My SystemsのAXIS Device Managerを使用すると、各組織内の複数の装置のオペレーティングシステムを管理できます。

組織内のすべての装置で使用可能なAXIS OS更新のリストをモデル別に表示するには、[Home > AXIS OS versions (ホーム > AXIS OSバージョン)]に移動します。

#### 装置ソフトウェアのアップグレード

組織全体の装置のAXIS OSバージョンをアップグレードするには：

1. [My Apps] > [AXIS DEVICE MANAGER] > [Devices (装置)] の順に移動します。
2. アップグレードが推奨されているモデルを選択します。
3. 装置リストの上にあるDevice software upgrade (装置ソフトウェアアップグレード) アイコンをクリックします。
4. [Upgrade (アップグレード)] をクリックします。

#### 進行中および完了したAXIS OSアップグレードの表示

組織内で完了した進行中のAXIS OSアップグレードのリストを表示するには、次の手順に従います。

1. [My Systems] メニューに移動します。
2. [AXIS Device Manager] > [Devices (装置)]の順に移動します。
3. Tasks (タスク) アイコンをクリックします。

### ライセンスを管理

#### License Managerについて

*AXIS License Manager*は、Axisの製品とサービスのサブスクリプションライセンスを一元的に管理するのに役立ちます。このツールのオーバービューでは、組織のサブスクリプションに関連する試用版、試用期間、猶予期間、ライセンスステータスなどの関連情報を確認できます。

次の2種類のライセンスを管理できます。

- ・ サブスクリプションライセンス (一定期間中に有効)。
- ・ ハードウェアに紐付けされたライセンス (ハードウェアの耐用期間中に有効)。

*My Systems*のライセンス (*Webアプリケーション*) に移動する。

ソフトウェア製品のライセンスを開始する前に、ソフトウェア製品を組織に登録する必要があります。

#### 開始する

製品をライセンスするには、まずサプライヤーからライセンスキーを購入する必要があります。

1. まず、サプライヤーからライセンスキーを購入する必要があります。
2. ソリューションに応じて、次の手順を選択します。
  - オフラインシステムの場合:
  - サブスクリプション製品の場合:
  - ハードウェア製品に紐付けされている場合:

#### ライセンスの購入

まだライセンスをお持ちではない場合は、システムインテグレーターまたは販売代理店にお問い合わせください。適切なシステムインテグレーターまたは販売代理店を見つけるには、**[Product list (製品リスト)]** に移動し、**[Where to buy licenses (ライセンスの購入先)]** リンクをクリックすると、お客様の場所に基づいて世界中のシステムインテグレーターまたは販売代理店の情報が表示されます。

#### オフラインシステムをライセンスする

オフラインシステムをライセンスするには、システム説明ファイルをAXIS License Managerにアップロードする必要があります。

##### 重要

現在、組織間でライセンスを移行する方法はないため、正しい組織を選択したことを確認してください。

1. 登録するソフトウェアでシステムファイルを作成します。
2. オンラインデバイスで、*My Systems*のライセンス (*Webアプリケーション*) に移動します。
3. 上部のバーの組織ドロップダウンメニューで管理する組織を選択します。
4. **[Product list (製品リスト)]** で**[Upload system file (システムファイルをアップロード)]** をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

### 将来使用するためのライセンスの保存

ライセンスの追加プロセスを容易にするために、現在使用しているライセンスよりも多くのライセンスを購入できます。即座に割り当てられないライセンスはWallet (ウォレット) に保存され、次回のサブスクリプションの更新時に使用できます。ライセンスは最大5年間保存できます。[Product wallet (製品ウォレット)] に移動し、製品のストレージに保存されているライセンスの数を確認します。

### アクティビティの履歴を確認する

組織の過去のアクティビティを確認するには、[History (履歴)] に移動します。ここでは、組織内の誰がライセンスを割り当てたか、またはライセンスキーを引き換えたか、また、それがいつ行われたかを確認できます。

### サブスクリプションの開始

製品のライセンスを取得するための最初のステップは、サブスクリプションを開始することです。サブスクリプションを開始すると、ライセンスの購入、ライセンスキーの引き換え、ライセンスの割り当てのための30日間の猶予期間が与えられ、ソフトウェアを継続して使用することができます。

1. My Systemsの *License Manager (Webアプリケーション)* に移動します。
2. トップバーのメニューで、管理する組織を選択します。

#### 重要

現在、組織間でライセンスを移行する方法はないため、正しい組織を選択したことを確認してください。

3. サブスクリプションを開始する製品を選択します。
4. [Product overview (製品の概要)] で、[Start your subscription (サブスクリプションの開始)] をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

[Product overview (製品の概要)] で、[License status(ライセンスステータス)] に [Subscription has started (サブスクリプションを開始しました)] と表示されます。猶予期間の終了も表示されます。

### ライセンスキーの引き換え

ライセンスキーには、1つの製品に対して購入した数のライセンスが含まれています。AXIS License Manager でライセンスキーを引き換えると、含まれるすべてのライセンスがProduct wallet (製品ウォレット) に追加され、後で割り当てることができます。

#### 重要

現在、組織間でライセンスを移管する方法はないため、組織が正しいことを確認してください。

1. ライセンスを引き換える製品を選択します。
2. [Product wallet (製品ウォレット)] に移動します。
3. ライセンスキーを入力または貼り付けます。
4. [Redeem license key (ライセンスキーの引き換え)] をクリックします。

### サブスクリプションライセンスを割り当てる

ライセンスを取得するには、製品ウォレットから現在のサブスクリプション年にライセンスを割り当てる必要があります。割り当てられたライセンス数が現在のニーズと一致すると、ライセンスが完全に付与されています。将来のサブスクリプション期間に備えて製品のライセンスを取得するには、現在のニーズに応じて追加のライセンスを割り当てます。

## ライセンスを管理

---

1. ライセンスを割り当てる製品を選択します。
2. [Product licensing (製品のライセンス)] に移動します。
3. [Allocate subscription licenses (サブスクリプションライセンスの割り当て)] で、[Current need (現在のニーズ)] に表示されているライセンス数を追加します。
4. [Confirm allocation (割り当てを確認)] をクリックします。このオプションが利用できない場合、現在のニーズに見合うだけのライセンスが製品ウォレットにありません。
5. [Confirm (確認)] をクリックして、指定された契約期間のライセンスの割り当てを確認します。

これで製品がライセンスされました。

猶予期間後または新しい製品の日付にサブスクリプションライセンスを割り当てても、組織のサブスクリプション期間の日付は変更されません。代わりに、それらのライセンスが重複している時間に対して補償が行われます。重なった時間に合わせて、新しいライセンスが自動的にウォレットに戻されます。

### サブスクリプションを更新する

サブスクリプションが更新日に達すると、新しい猶予期間が与えられます。その後、30日以内にウォレットから新しいサブスクリプション年にライセンスを割り当てることができます。最大5年前までにサブスクリプションを事前に更新することもできます。

1. サブスクリプションを更新する製品を選択します。
2. [Product licensing (製品のライセンス)] に移動します。
3. [Allocate licenses (ライセンスの割り当て)] で、[Current need (現在のニーズ)] に表示されているライセンス数を追加します。

これで、次のサブスクリプション年度にライセンスを割り当てることができるようになります。

4. [Confirm allocation (割り当てを確認)] をクリックします。
5. [Confirm (確認)] をクリックして、指定された契約期間のライセンスの割り当てを確認します。

これで製品がライセンスされました。

### サブスクリプション中に装置を追加する

サブスクリプション期間中は、ライセンスをサブスクリプションにすぐに追加する必要がなく、自由に装置を追加できます。必要なライセンス数は、次の更新期間にリストされている現在必要なライセンス数に追加されます。

#### 注

組織の年間増加許容率は、割り当てられたライセンス数の100%です。サブスクリプション年度に100%を超えて増加した場合は、追加のライセンスの割り当てが必要になります。Axisは不正使用を監視し、該当するお客様に通知します。

### ハードウェアに紐付けされたライセンスを登録する

ハードウェアに紐付けされたライセンスがプリロードされたハードウェアを購入した場合、ハードウェアを組織に登録すると、ライセンスが自動的にアクティブになります。

ハードウェアにプリロードされているライセンスよりも多くのライセンスが必要な場合は、拡張ライセンスを購入する必要があります。

#### 重要

現在、組織間でライセンスを移行する方法はないため、正しい組織を選択したことを確認してください。

## ライセンスを管理

---

### 拡張ライセンスキーを引き換える

拡張ライセンスキーには、1つの製品に対して購入した数のタイプ別のライセンスが含まれています。AXIS License Managerでライセンスキーを引き換えると、含まれるすべてのライセンスが**Product wallet (製品ウォレット)**に追加され、後で割り当てることができます。

#### 重要

現在、組織間でライセンスを移管する方法はないため、組織が正しいことを確認してください。

1. 拡張ライセンスを引き換える製品を選択します。
2. **[Product wallet (製品ウォレット)]**に移動します。
3. ライセンスキーを入力または貼り付けます。
4. **[Redeem license key (ライセンスキーの引き換え)]**をクリックします。

### 拡張ライセンスを割り当てる

ライセンスを取得するには、製品ウォレットから特定のハードウェアにライセンスを割り当てる必要があります。

1. ライセンスを割り当てる製品を選択します。
2. **[System setup (システム設定)]**に移動します。
3. 拡張ライセンスが必要なシステムをクリックします。
4. **[Allocate licenses (ライセンスの割り当て)]**をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

これで製品がライセンスされました。

# My Systems

## 組織を管理する

---

### 組織を管理する

#### 組織について

組織は、Axisシステムインストールの仮想表現であり、クラウドサービスの中心に位置しています。組織は、アクセスを規制し、最大限のセキュリティを確保する階層構造で、会社内のすべての装置とユーザーアカウントをホストします。同時に組織により、大企業だけでなく中小企業でもユーザーと装置の柔軟な管理が可能になります。

- 新しい組織を作成すると、その組織の所有者になります。組織はシステムをAxisクラウドサービスのユーザーに接続します。
- ユーザーを組織に招待できます。を参照してください。
- ユーザーにさまざまな役割を割り当てることができます。
- 組織にはデフォルトのフォルダーが含まれており、そこからニーズに合った組織構造の構築を開始できます。組織はフォルダーやサブフォルダーに構造化できます。通常、フォルダーは組織内のシステムの物理的なサイトまたは位置を表します。
- 組織内のシステムのライセンスを管理します。
- 組織を作成するには、My Axisアカウントが必要です。

#### 組織名を変更する

組織名を変更するには:

1. [My Systems] アイコンをクリックしてサイドメニューを展開します。
2. サイドメニューで [Organization > Organization settings (組織 > 組織設定)] に移動します。
3. [General (全般)] で、組織の名前を入力します。
4. [Notes (備考)] で、組織の説明を入力します。

#### 所有者

組織を作成すると、組織の所有権が自動的に付与されます。所有者は、組織、そのユーザー、アプリケーション、装置に対するフルアクセス権を持つことになります。所有権を譲渡するには、ユーザーをその役割に昇格させる必要があります。組織には少なくとも1人の所有者が必要です。

#### 組織をアーカイブする

組織が不要になった場合は、記録保持のために組織をアーカイブすることができます。組織をアーカイブする前に、装置を削除することをお勧めします。この組織に関連付けられているアクティブなサブスクリプションライセンスは使用できなくなり、払い戻しもできなくなります。

組織をアーカイブするには:

1. [My Systems] パネルに移動します。
2. [Organization settings (組織設定)] をクリックします。
3. [Archive Organization (組織をアーカイブする)] をクリックします。

# My Systems

## 組織を管理する

---

### ▲注意

現在、組織がアーカイブされた後に組織を取り出す方法はありません。したがって、アーカイブする前に組織IDを保存することをお勧めします。誤って組織をアーカイブした場合は、技術サポートに組織IDを提供する必要があります。

